



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月1日

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8129 URL <http://www.tohohd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 矩男
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 荻野 守 (TEL) 03-4330-3735
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	277,545	4.5	2,893	65.9	3,830	31.9	2,411	24.0
24年3月期第1四半期	265,548	2.6	1,744	△37.1	2,905	△26.4	1,944	△1.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 2,255百万円(△8.5%) 24年3月期第1四半期 2,465百万円(54.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	32 75	— —
24年3月期第1四半期	24 88	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	542,561	123,474	22.8
24年3月期	536,440	121,594	22.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期123,474百万円 24年3月期121,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8 00	—	8 00	16 00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		8 00	—	8 00	16 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	556,000	3.1	7,100	72.7	8,500	40.3	4,900	45.6	66 53
通期	1,140,000	2.9	15,700	11.6	18,400	3.8	10,400	△3.4	141 20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社 (—)、除外 — 社 (—)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	78,270,142株	24年3月期	78,270,142株
25年3月期1Q	4,618,234株	24年3月期	4,618,030株
25年3月期1Q	73,652,036株	24年3月期1Q	78,174,985株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

医療用医薬品市場は、本年4月に診療報酬と薬価の改定があり、平均6.0%の薬価引下げ（長期収載品の追加引下げを含めると平均6.25%）が行われました。また、一般名処方の推進等で、ジェネリック医薬品の使用が促進されるなど医療費抑制策も浸透されつつあります。一方、高齢化の進展、新薬やオーファンドラッグなどの販売もあり、緩やかながら安定成長を続けています。

このような状況のもと当社グループは、独自の顧客支援システムを競争優位として提案型の営業活動やフィービジネスの拡大を展開すると共に、引き続き未妥結・仮納入、総価取引、薬価差問題等の是正に向けた流通改善に取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高277,545百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益2,893百万円（前年同期比65.9%増）、経常利益3,830百万円（前年同期比31.9%増）、四半期純利益2,411百万円（前年同期比24.0%増）となりました。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

医薬品卸売事業では、医薬品個々の価値に応じた合理的な販売価格の形成に努めるとともに、価格ロックシステムの厳格な運用により適正利益の確保を図った結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は267,814百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益（営業利益）は2,136百万円（前年同期比211.8%増）となりました。

調剤薬局事業では、既存子会社の順調な業容の拡大と経営の効率化、高付加価値化を進めていることにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は19,489百万円（前年同期比7.6%増）となりました。一方、新規出店費用や薬剤師の採用もあり、セグメント利益（営業利益）は772百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

治験施設支援事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は68百万円（前年同期比36.4%増）、セグメント利益（営業利益）は19百万円となりました。

情報機器販売事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は212百万円（前年同期比29.0%減）、セグメント損失（営業損失）は59百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、406,197百万円となりました。これは、現金及び預金が2,962百万円、商品及び製品が3,257百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が2,437百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%増加し、136,364百万円となりました。これは、土地が2,134百万円、建設仮勘定が2,073百万円それぞれ増加し、のれんが202百万円、ソフトウェアが118百万円、投資有価証券が463百万円、長期貸付金が793百万円それぞれ減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.1%増加し、542,561百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.7%増加し、385,164百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が10,345百万円、賞与引当金が1,657百万円それぞれ増加し、短期借入金が3,888百万円、未払法人税等が1,579百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.1%減少し、33,922百万円となりました。これは、長期借入金が1,511百万円、負ののれんが229百万円、繰延税金負債が144百万円それぞれ減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、419,087百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、123,474百万円となりました。これは、利益剰余金が2,036百万円増加し、その他有価証券評価差額金が156百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月9日発表の平成25年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,244	46,207
受取手形及び売掛金	266,499	264,061
有価証券	1,087	512
商品及び製品	60,845	64,102
その他	31,618	32,049
貸倒引当金	△763	△736
流動資産合計	402,531	406,197
固定資産		
有形固定資産	61,999	66,167
無形固定資産		
のれん	14,658	14,455
その他	2,966	2,859
無形固定資産合計	17,624	17,315
投資その他の資産		
その他	56,333	54,881
貸倒引当金	△2,047	△2,000
投資その他の資産合計	54,285	52,880
固定資産合計	133,908	136,364
資産合計	536,440	542,561

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	346,414	356,759
短期借入金	15,735	11,847
未払法人税等	3,745	2,165
賞与引当金	3,489	5,147
役員賞与引当金	91	27
返品調整引当金	291	307
その他	8,950	8,910
流動負債合計	378,718	385,164
固定負債		
社債	30	30
長期借入金	13,537	12,025
退職給付引当金	1,985	2,042
資産除去債務	729	730
負ののれん	2,097	1,867
その他	17,748	17,225
固定負債合計	36,127	33,922
負債合計	414,845	419,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	46,144	46,144
利益剰余金	67,536	69,572
自己株式	△4,036	△4,037
株主資本合計	120,293	122,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,602	5,446
土地再評価差額金	△4,301	△4,301
その他の包括利益累計額合計	1,300	1,144
純資産合計	121,594	123,474
負債純資産合計	536,440	542,561

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	265,548	277,545
売上原価	243,179	253,238
売上総利益	22,368	24,306
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	10,016	10,431
賞与引当金繰入額	1,759	1,751
役員賞与引当金繰入額	24	24
退職給付引当金繰入額	85	80
福利厚生費	1,727	1,850
車両費	352	384
貸倒引当金繰入額	△19	△61
減価償却費	648	687
のれん償却額	576	602
賃借料	1,790	1,782
租税公課	281	292
その他	3,381	3,586
販売費及び一般管理費合計	20,624	21,413
営業利益	1,744	2,893
営業外収益		
受取利息	30	28
受取配当金	581	534
受取手数料	678	663
負ののれん償却額	270	229
持分法による投資利益	—	12
雑益	453	326
営業外収益合計	2,015	1,796
営業外費用		
支払利息	129	107
持分法による投資損失	9	—
仮払消費税の未控除損失	643	716
雑損失	72	35
営業外費用合計	854	859
経常利益	2,905	3,830

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	2	153
貸倒引当金戻入額	81	—
段階取得に係る差益	252	—
投資有価証券償還益	—	258
その他	106	31
特別利益合計	442	443
特別損失		
固定資産処分損	25	28
投資有価証券評価損	31	37
災害による損失	60	—
その他	—	23
特別損失合計	116	89
税金等調整前四半期純利益	3,230	4,184
法人税、住民税及び事業税	1,111	2,524
法人税等調整額	174	△751
法人税等合計	1,285	1,772
少数株主損益調整前四半期純利益	1,944	2,411
四半期純利益	1,944	2,411

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,944	2,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	517	△154
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△1
その他の包括利益合計	520	△155
四半期包括利益	2,465	2,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,465	2,255
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	247,174	18,107	50	215	265,548	—	265,548
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	9,081	3	—	84	9,168	△9,168	—
計	256,256	18,110	50	299	274,717	△9,168	265,548
セグメント利益又は損失(△)	685	1,085	△17	△26	1,726	17	1,744

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	257,815	19,484	68	176	277,545	—	277,545
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	9,999	4	—	36	10,040	△10,040	—
計	267,814	19,489	68	212	287,585	△10,040	277,545
セグメント利益又は損失(△)	2,136	772	19	△59	2,869	24	2,893

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

該当事項はありません。